

平成26年度  
研究活動報告書

道都大学地域総合研究所

## 平成 26 年度活動報告

### 1. 主な活動

#### 『第1回 北の酒まつり in 北広島』の企画・運営統括（6～9月）

東広島市（広島県）で行われてきた『酒まつり』を『北の酒まつり in 北広島』として北広島市で始めるための基本的なモデル設計（事業計画から運営統括まで）を行った。第1回の観客数は2,800余名で、目標（1,500名）を大幅に達成し、北広島市の新たな観光行事として産声を上げることが出来た。

#### 由仁町職員研修会 講師派遣（10月）

由仁町（北海道夕張郡）の40歳以下の全職員を対象とした『まちづくり研修会』に講師を派遣し、2日間に渡る研修の実施を担当した。

#### 北海道病院レシピフォーラム 共催（12月）

北海道内の医療機関を対象に、専門家による講演や病院食のレシピコンテストなどのフォーラムを共催した。

#### 北広島商工会委託事業（12～1月）

北広島商工会が実施した「お楽しみ三角くじ」事業および商店街の活性化についての市民意識アンケート調査を行い、分析結果を商工会に提出した。

### 2. 成果物

『2014年度 三角くじと商店街活性化に関するアンケート調査概要』【別添資料1】

### 3. エビデンス

北海道病院レシピフォーラム (チラシ)

# 北海道病院レシピフォーラム



司会者 埜なおこ

【フリーアナウンサー】  
国産生まれ、札幌産女子  
院大卒業後、高アナとし  
て勤務したのち、フリー  
アナウンサーとしての活  
動を始める。放送、テレ  
ビのキャスター・レポー  
ター・司会・講師など電  
波の分野で活躍。北海道  
フードマイスターとして  
食に関する様々なイベン  
トでも活躍中。

全国には高血圧症が4000万人、脂質異常症1000万人、糖尿病950万人の推定患者がおります。生活習慣病改善・予防のため、家庭でも手軽に作れる病院レシピの普及は今や社会的要請となりつつあります。本フォーラムでは、生活習慣病を日々の食事の工夫で防ぐ対策などについて専門家を招いて御講演いただきます。また当日、病院レシピコンテストの一次審査において金賞に輝いた5作品について最終審査を行い、最優秀グランプリ・準グランプリを決定します。上位入賞作品は、メディアを通して道民の皆様へ発信されます。

2014年12月14日(日)

#### 基調講演 1

13:30~14:30

### 「日本人は食塩中毒 — 減塩で高血圧対策」

講師：島本 和明 (札幌医科大学 学長)

北海道小樽市生まれ。札幌医科大学卒業。平成8年札幌医科大学第二内科教授。平成16年~20年札幌医科大学附属病院院長。平成22年4月より札幌医科大学学長。専門分野は高血圧の疫学、病態、成因、治療に加え、生活習慣病とメタボリックシンドロームの研究。平成21年高血圧学会賞。平成22年北海道科学技術賞。平成22年日本心臓病学会賞。平成23年日本高血圧学会賞。平成25年日本動脈硬化化学会賞。平成26年秋山財団賞。著書に「メタボリックシンドロームと生活習慣病」(診断と治療社2007年)など。



#### 基調講演 2

14:35~15:20

### 「生活習慣病とすこやかレシピ」

講師：久保 ちづる (天使大学 看護・栄養学部栄養学科 教授)

昭和48年札幌女子大学栄養学部食物学専攻栄養学専攻卒業。平成13年札幌国際大学大学院地域文化専攻修士課程卒業。(食)明後遺。社会福祉法人札幌協賛病院、二橋栄養研究所を経て、平成12年からは北海道大学医学部付属病院栄養管理室に勤務し栄養管理および栄養管理部門の運営に従事。栄養管理室から栄養管理室への移行、NST設備、クックデル対応の新調理施設建設に携わった。平成22年名寄市立大学保健福祉学部栄養学科教授。平成24年より現職。



#### 病院レシピコンテスト表彰式

15:20~15:30

※コンテストの詳細については別途開催パンフレットをご参照ください。パンフレットについては下記ホームページ(トップページの最新情報)をご覧ください。  
<http://chiikikenkou.net/>

開催  
場所

札幌北広島クラッセホテル (北広島市中の沢316-1)  
アクセス/JR北広島駅より車で8分、J北広島駅より無料シャトルバス運行

対象

市民の皆様。管理栄養士・栄養士の方  
ご参加も歓迎いたします。

参加費 無料

応募  
方法

件名に、「病院レシピフォーラム参加」と記載し、「お名前」、「ご連絡先電話番号」を明記し、12月10日(水)までにメールかFAXでお申し込みください。  
Eメール: [info@chiikikenkou.net](mailto:info@chiikikenkou.net) FAX: 011-707-5422

主催/一般社団法人地域健康社会研究所  
共催/特定非営利活動法人北海道病院協会、公益社団法人北海道栄養士会、  
公益社団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)、  
道庁大学地域総合研究所、学政法人札幌青葉学園、㈱アンビックス、㈱モロオ、㈱ヘル食品  
後援/北海道、北広島市、北海道新聞社、北海道文化放送、テレビ北海道、北海道はまなす食品協、  
NPO法人北海道活性化センター-Tacida  
協賛/㈱北海道バイオインダストリー  
協力/札幌北広島クラッセホテル

#### お問い合わせ先

一般社団法人 地域健康社会研究所  
E-mail: [info@chiikikenkou.net](mailto:info@chiikikenkou.net)  
TEL/FAX: 011-707-5422  
070-6602-2247 (事務局 佐藤)

平成 26 年度  
北広島商工会  
三角くじと商店街活性化に関する  
アンケート調査概要

平成 27 年 2 月 20 日

道都大学地域総合研究所

【目的】北広島商工会で実施している「お楽しみ三角くじ」等の事業および商店街の活性化についての意識調査を行い、地域商店街の活性化に結びつけることを目的とする。

【方法】

**調査方法** 調査は郵送法によって行われた。ランダムに抽出された北広島市民 1000 名に対してアンケートを送付し、平成 27 年 1 月 20 日を起源として郵送により回収した。

**調査内容** アンケート調査（付表参照）は 4 部構成となっており、1 部は「ダブル三角くじ」や商工会の事業についての認知度や要望、2 部は一般的な「福引き」への興味など、3 部は回答者自身の買い物の状況、4 部は回答者自身の性別、年齢、居住地区について回答を求めた。

**調査回答者** 回答が得られた 307 名のうち性別（質問 16）、年齢（質問 17）、居住地（質問 18）について回答していた 300 名についての内訳は図 1 から図 3 および表 1 の通りである。

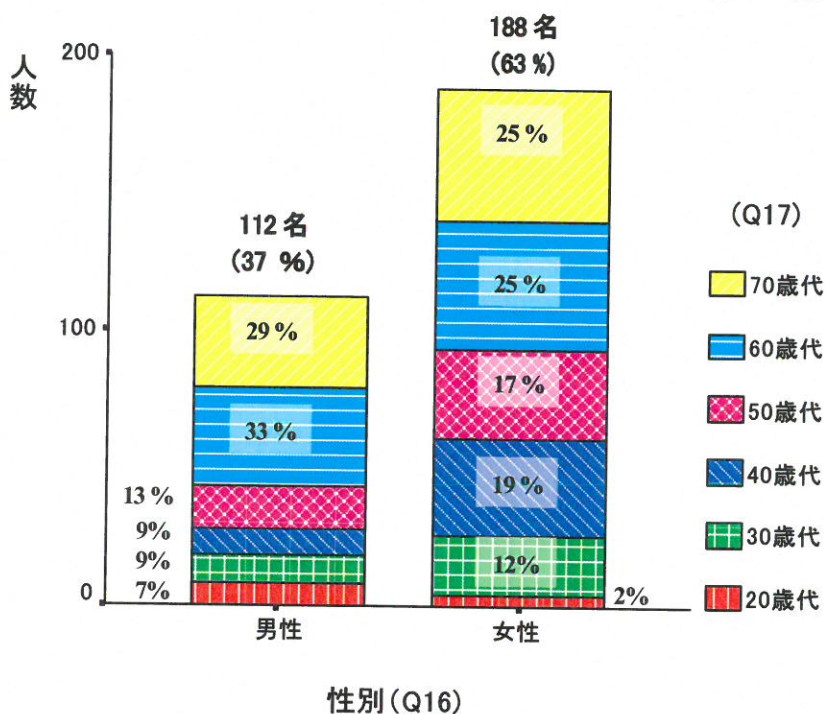


図 1 調査対象者内訳 性別×年齢 (総計 300 人)

図 1 に示したように、女性が 6 割を超え、男女とも 60 歳以上全体で 5 割以上、70 歳以上では 7 割以上から回答を得た。また、図 2 と図 3 でも 60 歳以上の高齢者の回答者が多い。

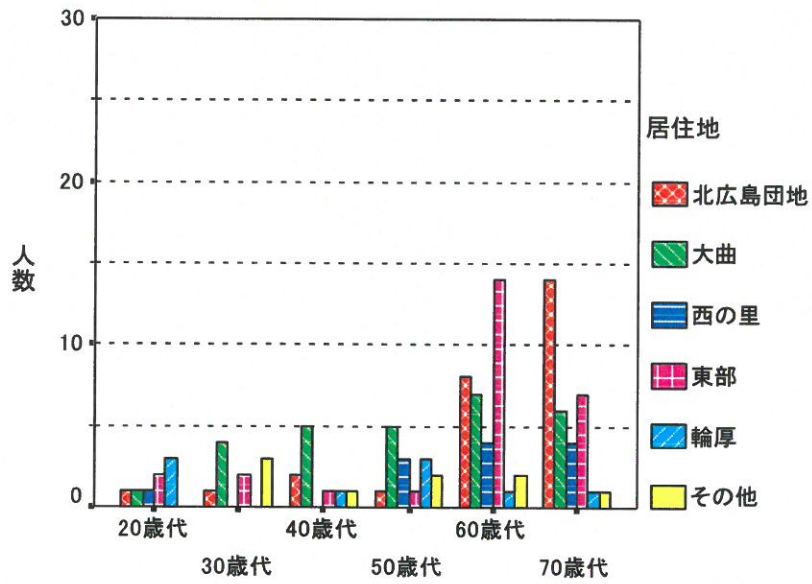


図2 調査対象者の年齢と居住地: 男性

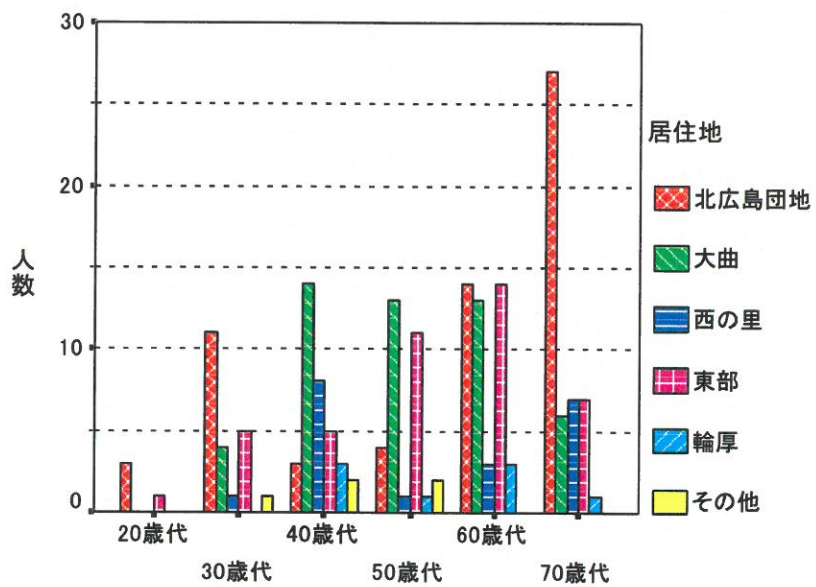


図3 調査対象者の年齢と居住地: 女性

表 1 調査回答者における性別, 年齢, 居住地区の割合

性別				居住地						合計	
				北広島 団地	大曲	西の里	東部	輪厚	その他		
男性	年齢	20歳代	度数	1	1	1	2	3	0	8	
		総和 %	.9%	.9%	.9%	1.8%	2.7%	.0%	7.1%		
	30歳代	度数	1	4	0	2	0	3	10		
		総和 %	.9%	3.6%	.0%	1.8%	.0%	2.7%	8.9%		
	40歳代	度数	2	5	0	1	1	1	10		
		総和 %	1.8%	4.5%	.0%	.9%	.9%	.9%	8.9%		
	50歳代	度数	1	5	3	1	3	2	15		
		総和 %	.9%	4.5%	2.7%	.9%	2.7%	1.8%	13.4%		
	60歳代	度数	8	7	4	14	1	2	36		
		総和 %	7.1%	6.3%	3.6%	12.5%	.9%	1.8%	32.1%		
	70歳代	度数	14	6	4	7	1	1	33		
		総和 %	12.5%	5.4%	3.6%	6.3%	.9%	.9%	29.5%		
	男性合計			度数	27	28	12	27	9	9	112
				総和 %	24.1%	25.0%	10.7%	24.1%	8.0%	8.0%	100.0%
女性	年齢	20歳代	度数	3	0	0	1	0	0	4	
		総和 %	1.6%	.0%	.0%	.5%	.0%	.0%	2.1%		
	30歳代	度数	11	4	1	5	0	1	22		
		総和 %	5.9%	2.1%	.5%	2.7%	.0%	.5%	11.7%		
	40歳代	度数	3	14	8	5	3	2	35		
		総和 %	1.6%	7.4%	4.3%	2.7%	1.6%	1.1%	18.6%		
	50歳代	度数	4	13	1	11	1	2	32		
		総和 %	2.1%	6.9%	.5%	5.9%	.5%	1.1%	17.0%		
	60歳代	度数	14	13	3	14	3	0	47		
		総和 %	7.4%	6.9%	1.6%	7.4%	1.6%	.0%	25.0%		
	70歳代	度数	27	6	7	7	1	0	48		
		総和 %	14.4%	3.2%	3.7%	3.7%	.5%	.0%	25.5%		
	女性合計			度数	62	50	20	43	8	5	188
				総和 %	33.0%	26.6%	10.6%	22.9%	4.3%	2.7%	100.0%

居住地域は、男女とも北広島団地および大曲地区の回答者が多くなった(図 2・3, 表 1)。また、その他の地区には、稲穂地区 (1 名)、美沢地区 (1 名)、中央地区 (1 名)、希望ヶ丘地区 (1 名)、新富町 (2 名)、虹ヶ丘地区 (3 名)、共栄町 (4 名) が含まれていた。

【結果および考察】

質問ごとに分析を行い、結果を示すとともに考察を行っていくこととする。

質問1「ダブル三角くじ」を知っているか

「ダブル三角くじ」は回答者302名うち、3割程度の認知度であった(表2)。

表2 三角くじの認知度

質問1	知っていた	知らなかった	回答数
三角くじを知っていたか	102名(34%)	200名(66%)	302

また、表3に示したように居住地区や性によっても認知度に違いが見られ、知っていた人が比較的多かったのは、男性は東部地区、女性は北広島団地であった。一方で知らなかった人が比較的多かったのは、男性は北広島団地や大曲地区、女性では大曲地区であった。

表3 三角くじの認知度と居住地区・性別の関係

性別		居住地						合計	
		北広島 団地	大曲	西の里	東部	輪厚	その他		
男性	知っていた	度数	7	10	1	15	3	1	37
		総和%	6.4%	9.1%	.9%	13.6%	2.7%	.9%	33.6%
	知らなかった	度数	20	17	11	11	6	8	73
		総和%	18.2%	15.5%	10.0%	10.0%	5.5%	7.3%	66.4%
	合計	度数	27	27	12	26	9	9	110
		総和%	24.5%	24.5%	10.9%	23.6%	8.2%	8.2%	100.0%
女性	知っていた	度数	36	6	2	17	1	2	64
		総和%	19.4%	3.2%	1.1%	9.1%	.5%	1.1%	34.4%
	知らなかった	度数	26	44	17	25	7	3	122
		総和%	14.0%	23.7%	9.1%	13.4%	3.8%	1.6%	65.6%
	合計	度数	62	50	19	42	8	5	186
		総和%	33.3%	26.9%	10.2%	22.6%	4.3%	2.7%	100.0%

次に、表4と図4には居住地区と三角くじの認知度のみの関係を示した。



表4 居住地区と三角くじの認知度との関係

		三角くじ認知度		合計		
		知っていた	知らなかった			
居住地	北広島団地	度数	44	46	90	
		総和の %	14.8%	15.5%	30.3%	
	大曲	度数	16	61	77	
		総和の %	5.4%	20.5%	25.9%	
	西の里	度数	3	28	31	
		総和の %	1.0%	9.4%	10.4%	
	東部	度数	32	36	68	
		総和の %	10.8%	12.1%	22.9%	
	輪厚	度数	4	13	17	
		総和の %	1.3%	4.4%	5.7%	
	その他	度数	3	11	14	
		総和の %	1.0%	3.7%	4.7%	
	合計		度数	102	195	297
			総和の %	34.3%	65.7%	100.0%

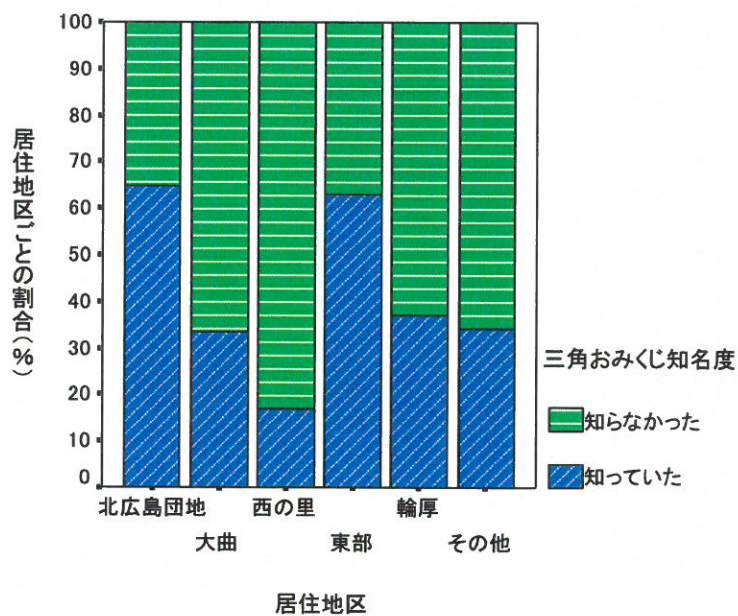


図4 居住地区と三角くじ認知度の関係

表4と図4に示したように三角くじを行っていることを知っている人が特に少ない地区は西の里地区、次いで大曲地区、輪厚地区であった。

## 質問2「ダブル三角くじ」を実際にひいたことがあるか

三角くじを実際に引いたことがある人は、表5に示したように回答者300名のうち67名と約2割に過ぎなかった。

表5 三角くじの経験(単位:人)

質問2	1. 引いた	2. 引いていない	回答数
三角くじを実際に引いたか	67(22%)	233(78%)	300

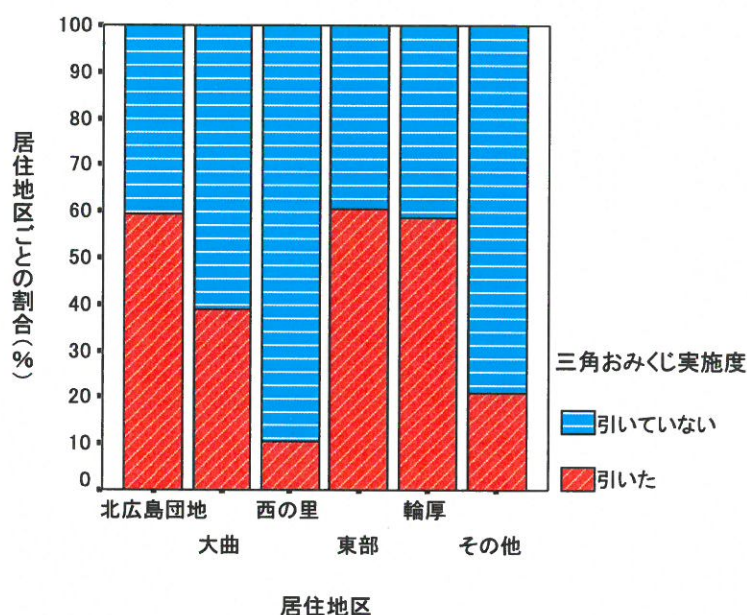


図5 居住地区と三角くじを引いた経験との関係

また、図5に示したように各地区の回答者数に対する三角くじを引いた人の割合が高い地域は北広島団地、東部地区、次いで輪厚地区であった。一方で三角くじを引いていない人の割合の高い地域は、西の里地区と大曲地区であった。実際に表4や図4にも示されていたように、三角くじについての認知度は低く、質問15の商工会・商店街への要望あるいは空欄に「どこで、どのように行っているのか」がわからないという意見が散見された。

そこで、認知度と経験における回答の割合(表6)について、 $\chi^2$ 検定により確認したところ、各割合に有意水準1%以下で統計的に有意な違いがみられた(表7)。すなわち、三

角くじについて知らない人が三角くじを引いていないことが多いといえる。

表6 三角くじ認知度と経験の関係

質問 1		質問 2	三角くじ経験		合計
			引いた	引いていない	
くじ 認知度	知っていた	人数	56	46	102
		総和の%	18.7%	15.4%	34.1%
	知らなかった	人数	11	186	197
		総和の%	3.7%	62.2%	65.9%
合計		人数	67	232	299
		総和の%	22.4%	77.6%	100.0%

表7 三角くじ認知度(質問1)と経験(質問2)の $\chi^2$ 検定の結果

項目	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗 連続修正 <sup>(a)</sup>	94.013 <sup>(b)</sup> 91.198	1 1	.000 .000
有効なケースの数	299		

注) a 2x2 表に対してのみ計算

b 0 セル (0%) は期待度数が 5 未満。最小期待度数は 22.86。

### 質問 3 見聞きしたお楽しみ三角くじに関する宣伝

お楽しみ三角くじについての宣伝で見聞きしたものを尋ねた結果を表 8 に示した。

表 8 見聞きした三角くじに関する宣伝

質問 3	人数	全回答数171件 に対する割合%	有効回答者132名 に対する割合%
新聞記事	20	11.7	15.2
折り込みチラシ	74	43.3	56.1
地元FM放送	4	2.3	3.0
店頭掲示(ポスター)	60	35.1	45.5
横断幕	11	6.4	8.3
北広島商工会HP	2	1.2	1.5
合計	171	100.0	129.5

注)無回答 175名 有効回答者数 132名

三角くじに関して見聞きした宣伝メディアとしては、折り込みチラシと店頭掲示(ポス

ター) で全体の7割を占めていた。ただし、表9に示したように、すべての居住地区で見られているのは折り込みチラシのみである。また、居住地区でみると、三角くじの情報が西の里や輪厚といった地区に伝わりにくかったことがわかる。これは表4の三角くじの認知度とも合致する。

表9 見聞きした三角くじの宣伝と居住地区の関係

質問18	質問3	見聞きした三角くじの宣伝						合計	
		新聞記事	折込チラシ	地元FM	店頭掲示	横断幕	商工会HP		
居住地区	北広島団地	人数	8	24	1	24	3	0	49
		%	6.2	18.5	0.8	18.5	2.3	0.0	37.7
	大曲	人数	6	14	1	12	2	0	26
		%	4.6	10.8	0.8	9.2	1.5	0.0	20.0
	西の里	人数	1	6	0	0	0	0	6
		%	0.8	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6
	東部	人数	4	25	1	17	4	2	38
		%	3.1	19.2	0.8	13.1	3.1	1.5	29.2
	輪厚	人数	0	4	0	4	0	0	7
		%	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	5.4
	その他	人数	1	1	1	2	1	0	4
		%	0.8	0.8	0.8	1.5	0.8	0.0	3.1
	合計	人数	20	74	4	59	10	2	130
		%	15.4	56.9	3.1	45.4	7.7	1.5	100.0

質問4「ダブルお楽しみ三角くじ」に対する要望

「ダブルお楽しみ三角くじ」に対する要望で最も多かったのは、くじを引ける購入金額の基準の引き下げで、次いで景品の種類増であった。

表9 三角くじへの要望

質問4	人数	全回答数318件 に対する割合%	有効回答者223名 に対する割合%
抽選期間延長	59	18.6	26.5
購入基準引き下げ	87	27.4	39.0
景品の種類増	70	22.0	31.4
景品金額引き上げ	33	10.4	14.8
その他	69	21.7	30.9
合計	318	100.0	142.6

注)無回答 84名 有効回答者数 223名

ただし、その他はそれに次いで多く選択され、その中の半数近くの32件でしめされていたのが、「ダブルお楽しみ三角くじを知らない」という意見である。PR不足を指摘する意見も数件みられた。

#### 質問5 「お楽しみ三角くじ」以外の事業の認知度

北広島商工会が行っている事業の認知度を尋ねたところ、表10に示したように、チャリティ・ピアガーデン、北広まいピーによる北広島PR活動が3割弱の認知度を示した。また、その他の意見の8割以上はどの事業も知らないというものであった。それ以外では、「雪祭りへの出店」、「酒まつり」などが挙げられていた。

表10 北広島商工会が実施している事業の認知度

質問5	人数	全回答数350件 に対する割合%	有効回答者215名 に対する割合%
北広まいピーPR活動	93	26.6	43.3
チャリティピアガーデン	103	29.4	47.9
サンタクロース宅配事業	26	7.4	12.1
Cosmos in コスモス事業	41	11.7	19.1
空き店舗利用促進事業	33	9.4	15.3
経済セミナー	19	5.4	8.8
その他	35	10.0	16.3
合計	350	100.0	162.8

注)無回答 92名 有効回答者数 215名

三角くじと商工会事業の各認知度との関係を表11に示した。三角くじを知っている人、知らない人ともに「まいピーによる地域活動」「チャリティピアガーデン」の認知度が比較的高かった。

表11 三角くじ事業とそのほかの商工会事業の認知度の関係

事業名 三角くじ	まいピー による地 域PR	チャリテ ィピアガ ーデン	サンタク ロース宅 配事業	Cosmos in コスモ ス事業	空き店舗 利用促進 事業	経済セミ ナー	その他	計
知っている(人数)	45	59	8	30	22	12	6	182
割合%	12.9	16.9	2.3	8.6	6.3	3.4	1.7	52.1
知らない(人数)	48	43	18	11	11	7	29	167
割合%	13.8	12.3	5.2	3.2	3.2	2	8.3	47.9
合計 人数	93	102	26	41	33	19	35	349
総和の%	26.6	29.2	7.4	11.7	9.5	5.4	10.0	100

質問6 商店街などの「福引き」と質問7「福引き」を実施している商店街に対する興味

次に、「ダブルお楽しみ三角くじ」に限定せず、商店街などで実施されている「福引き」全般に対する興味を尋ねた。その結果を表12に示した。

表12 商店街などで行われる「福引き」は楽しみであるか

質問6	とても楽しみ	多少楽しみ	あまり関心がない	まったく関心がない	回答数
人数	35.0	103.0	122.0	35.0	295.0
割合(%)	11.9	34.9	41.4	11.9	100.0

また、表13では「福引き」を実施している商店街へ行きたいと思うかを尋ねた結果をまとめた。「それほど行きたいと思わない」と「少し行きたいと思う」の回答がそれぞれ3割を超え、次いで多かったのが「行きたいと思う」という回答であった。「まったく行きたいと思わない」は1割にも達していない。

表13 「福引き」を実施している商店街などへ行きたいか

質問7	行きたいと思う	少し行きたいと思う	それほど行きたいと思わない	まったく行きたいと思わない	回答数
人数	74.0	92.0	100.0	28.0	294.0
回答数の%	25.2	31.3	34.0	9.5	100.0

この質問6と質問7の回答はともに4件法による間隔尺度となっていたため、この両質問に対する回答を1から4までの評定値として平均値および標準偏差を求めた(表14)。

表14 質問6と質問7の平均値および相関係数

項目	平均値	標準偏差	回答数
質問6 福引き楽しみ	2.53	.852	295
質問7 福引き行きたい	2.28	.948	294
質問6と質問7におけるPearsonの相関係数(有効回答数 294)	r=0.716** p<.001 ** 相関係数は1%水準で有意(両側)		

ともに回答のあった294名の質問6と質問7の評定値に関して相関係数を求めたところ、

統計的に有意な強い相関が示された（表 14）。すなわち、福引きを楽しみにしている人は福引きに行きたいと考えていると言える。

さらに、質問 1「ダブルお楽しみ三角くじ」の認知度と質問 6 福引きを楽しみしている程度との関係について検討した（表 15）。さらに $\chi^2$ 検定を行ったところ、それぞれの質問に対する回答には統計的に有意な差異がみられた（表 16）。すなわち、統計上有意に、「三角くじを知らない」人は多く、その中でも「あまり関心なし」という人が最も多くみられたことになる。

表 15 三角くじの認知度(質問 1)と福引きの楽しみの程度(質問 6)の関係

質問 1		質問 6 福引き楽しみ				合計	
		とても楽しみ	多少楽しみ	あまり関心なし	まったく関心なし		
質問1 三角くじ認 知度	知っていた	度数	11	43	43	5	102
		総和の%	3.7%	14.6%	14.6%	1.7%	34.7%
	知らなかつ た	度数	24	60	78	30	192
		総和の%	8.2%	20.4%	26.5%	10.2%	65.3%
合計		度数	35	103	121	35	294
		総和の%	11.9%	35.0%	41.2%	11.9%	100.0%

表 16 質問1(認知度)と質問 6(楽しみ)の関係(表14)の $\chi^2$ 検定

項目	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗 有効なケースの数	8.898 294	3	.031

さらに質問 2 三角くじを引いた経験の有無と質問 6 福引きが楽しみであるかとの関係を検討した（表 17）。その結果、多くみられたくじを引いていない人では「あまり関心なし」と回答した人が多い傾向がみられた。ただし、統計的に有意な関連とはいえなかった。

表 17 三角くじの経験と福引きへの楽しみの程度との関係

質問 2		質問 6 福引き楽しみ				合計	
		とても楽しみ	多少楽しみ	あまり関心なし	まったく関心なし		
三角くじの 経験	引いた	度数	12	28	23	4	67
		総和の%	4.1%	9.6%	7.8%	1.4%	22.9%
	引いていない	度数	23	75	97	31	226
		総和の%	7.8%	25.6%	33.1%	10.6%	77.1%
合計		度数	35	103	120	35	293
		総和の%	11.9%	35.2%	41.0%	11.9%	100.0%

また、 $\chi^2$ 検定では1つのセルの度数が5以上必要となるが、4件法では5未満のセルも示されるため、「とても楽しみ」と「多少楽しみ」を「楽しみ」として、「あまり関心なし」と「まったく関心なし」を「関心なし」として、それぞれ1つにまとめ2件法として検討した。その結果が表18である。こちらも $\chi^2$ 検定を行ったところ、両者の回答に統計的に有意な関連が示された(表19)。すなわち、引いたことのある人は楽しみを感じ、引いていない人は関心がないことを示している。

表18 三角くじの経験と福引きへの楽しみとの関係(2件法)

質問2			質問6 福引き楽しみ		合計
			楽しみ	関心がない	
三角くじ経験	引いた	度数 総和の %	40 13.7%	27 9.2%	67 22.9%
	引いていない	度数 総和の %	98 33.4%	128 43.7%	226 77.1%
合計		度数 総和の %	138 47.1%	155 52.9%	293 100.0%

表19 質問2と質問7(2件法)の関係についての $\chi^2$ 検定

項目	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	5.537(b)	1	.019
連続修正(a)	4.901	1	.027
有効なケースの数	293		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0セル(.0%)は期待度数が5未満。最小期待度数は31.56。

同様に、質問1と質問7の関係を表20に示した。三角くじを知っていた人では「それほど行きたいと思わない」と回答した人が多い傾向がみられ、三角くじを知らなかった人では「少し行きたい」「それほど行きたいと思わない」という回答が多い傾向が示された。ただし、 $\chi^2$ 検定により検討したところ、統計的に有意な特徴を見いだすことができなかった。

そこで質問6と同様に質問7に対しても福引きを行っている商店街へ「行きたいと思う」と「少し行きたいと思う」を「行きたい」として、「それほど行きたいと思わない」と「まったく行きたいと思わない」を「行きたいと思わない」として、それぞれ1つにまとめ2件法として検討したものが表21である。こちらも $\chi^2$ 検定を行ったところ、両者の回答に統計的に有意な関連が示された(表22)。すなわち、三角くじを知らない人が多くみられ、



知らない人の多くは福引きを行っている商店街へ行きたいと思っていることを示した。

表 20 三角くじの認知度と福引きを行っている商店街に行きたいかどうか(4件法)との関係

質問 1	質問7 福引きを行っている商店街に行きたい				合計		
	行きたいと思う	少し行きたいと思う	それほど行きたいと思わない	まったく行きたいと思わない			
三角くじ認知度	知っていた	人数	25	26	41	6	98
		総和の%	8.7%	9.0%	14.2%	2.1%	
	知らなかった	人数	47	65	58	21	191
		総和の%	16.3%	22.5%	20.1%	7.3%	66.1%
合計	人数	72	91	99	27	289	
	総和の%	24.9%	31.5%	34.3%	9.3%	100.0%	

表21 三角くじの認知度と福引きのある商店街に行きたいか(2件法)との関係

質問 1	質問 7 福引きを行っている商店街へ行きたいか		合計	
	行きたいと思う	行きたいと思わない		
三角くじ認知度	知っていた	度数 51	47	98
		総和の % 17.6%	16.3%	33.9%
知らなかった	知らなかった	度数 112	79	191
		総和の % 38.8%	27.3%	66.1%
合計	度数 163	126	289	
	総和の % 56.4%	43.6%	100.0%	

表22 三角くじの認知度と福引きのある商店街に行きたいか(2件法)との関係についてのχ検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson の $\chi^2$ 乗	1.147(b)	1	.284
連続修正(a)	.894	1	.344
有効なケースの数	289		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0 セル (0%) は期待度数が 5 未満。最小期待度数は 42.73。

次に、三角くじを引いたことの実験 (質問 2) と福引きを行っている商店街へ行きたいか (質問 7) の関係を検討した (表 23)。しかしながら、4 件法では統計的に有意な特徴がみられなかった。そこで質問 1 と質問 7 で行ったように「行きたいと思う」と「少し行きたいと思う」を「行きたい」として、「それほど行きたいと思わない」と「まったく行きた

いと思わない」を「行きたいと思わない」として、それぞれ1つにまとめ2件法として検討したものが表24である。こちらも $\chi^2$ 検定を行ったが、質問2と質問7の回答に統計的に有意な関連はなかった(表25)。すなわち、参加くじを引いた人、引いていない人、福引きを行っている商店街に行きたい人、行きたいと思っていない人の割合に差はなかった。

表23 三角くじの経験と福引きへ行きたい程度との関係

質問2			質問7 福引きを行っている商店街へ行きたいか				合計
			行きたいと思う	少し行きたいと思う	それほど行きたいと思わない	まったく行きたいと思わない	
三角くじ 経験	引いた	度数 総和の%	23 8.0%	15 5.2%	22 7.6%	5 1.7%	65 22.6%
	引いていない	度数 総和の%	49 17.0%	76 26.4%	76 26.4%	22 7.6%	223 77.4%
合計		度数 総和の%	72 25.0%	91 31.6%	98 34.0%	27 9.4%	288 100.0%

表24 三角くじの経験と福引きを行っている商店街に行きたいかどうか(2件法)との関係

質問2			質問7 商店街へ行きたいか		合計
			行きたいと思う	行きたいと思わない	
三角くじの経験	引いた	度数 総和の%	38 13.2%	27 9.4%	65 22.6%
	引いていない	度数 総和の%	125 43.4%	98 34.0%	223 77.4%
合計		度数 総和の%	163 56.6%	125 43.4%	288 100.0%

表25 質問2と質問7の関係(2件法)についての $\chi^2$ 検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	.119(b)	1	.730
連続修正(a)	.041	1	.840
有効なケースの数	288		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0セル(0%)は期待度数が5未満。最小期待度数は28.21。

#### 質問8 「福引きに行きたい」あるいは「行きたいと思わない」理由

ここでは「福引きに行きたい」「福引きに行きたいと思わない」理由を自由に記入してもらった。その自由記述の一覧を地区別にまとめたものが表26である。

「行きたい」理由としては、当たるとどうか、何が当たるかのワクワク感や楽しみや期待の

記述が多かった。一方で、行きたいと思うが詳細を知らないという回答もあった。

「行きたいと思わない」理由として、当たらないことが多い、当たるかどうか分からない福引きのために商店街には行かない、福引きのために買物に行かない、加盟店がわからないなどの意見があった。また、福引き自体がどこで行われているかわからない、PR不足、遠いので行きづらいなどの意見は、大曲や西の里など北広島中心部から離れた地区にみられた。さらに、高齢者の方60歳から70歳以上の方では、買い物に行くこと自体が負担となっている。実際に、通販や配達を利用している方も散見された。

表 26 福引きに「行きたい」あるいは「行きたくない」理由

居住地	質問8(自由記述)
北広島団地地区	多くの場合、福引に当たらないことが多いし、当たっても景品に魅力がない。(70歳以上, 男性)
	購入品が商店街に行かなくとも購入できてしまうので(60歳代, 女性)
	年の初めの楽しみだから(20歳代, 女性)
	なにかいい物があたりたいです。(70歳以上, 女性)
	何が当たるかなあ・とワクワク感。昨年様にはずれの人は「5円玉 神社の祈禱済み景品の様なのは福引をしたという実感と、常にサイフ、バック等に入れておけるので良かったと思います。(70歳以上, 女性)
	「行きたい」は、ワクワクする気持ちがちよっぴりうれしいです。当たることはないのですが～希望が持てそうで!!(60歳代, 女性)
	商店街での買い物をしない(70歳以上, 男性)
	近いと行く気がおきます(60歳代, 女性)
	たまたま買い物があったり、家から近ければ出かけると思いますが、高齢化に伴って、だんだん出かけることが億劫になります。(60歳代, 女性)
	商工会加入店舗が近くに有るのかな? 加入店舗名そのものをPRすべき(70歳以上, 男性)
	団地内で福引きを行っている店が少ない(60歳代, 女性)
	買物は生協、東光で済んでる。(70歳以上, 女性)
	買物時のついでに寄る(70歳以上, 女性)
	シフト制の仕事なので、行けないから。(30歳代, 女性)
	当たる確率が低いから(70歳以上, 男性)
	楽しみにしています(70歳以上, )
	せめて地元の福ぐらいは付合いたい物です(60歳代, 男性)
	高台で逆に転倒でもすると大変な事になるので(70歳以上, 女性)
	福引目当てになるかもしれませんが、普段利用の少ない商店などを新たに見ることが出来るかもしれないので。(30歳代, 女性)
	商工会に入っているお店をよく知らないの...どのお店に入って良いかわからないです。(60歳代, 男性)
普段よりもお得感があるから(30歳代, 女性)	
同じ商品を買うなら福引のある方を選ぶかな(40歳代, 女性)	

楽しみ(60歳代, 女性)
当たらないとわかってながら, こういうものはやってみたいものです。(70歳以上, 男性)
年末は買い物額が増え, 福引きできるチャンスが多くなるため。(40歳代, 女性)
楽しみがあるから(30歳代, 女性)
市外に出たほうが楽しそうだから(70歳以上, 女性)
福引きやビンゴ等好きだから。(30歳代, 女性)
ワクワク感を楽しみたいし, それによって買うかどうか迷っていた商品を手に入れる決心がつき, 良い事だと思う。(60歳代, 女性)
買物するなら福引きしているお店に行きたいと思います。(60歳代, 女性)
当たったことがないから...宝くじとか抽選とか(30歳代, 女性)
めんどろ(70歳以上, 女性)
商店街とはどこに有るか?前は, 市役所の前と思っていましたが今はどこに街と云われるものが有るか分からない。(70歳以上, 女性)
(Q7の回答への補足:必要な品がある時)(60歳代, 女性)
自分が普段よく行くお店なら行くと思うが, 自宅から離れてたり, あまり利用していないお店なら行かないかもしれません。(30歳代, 女性)
福引きに行きたい理由は, たのしみでもあるしワクワクします。(30歳代, 女性)
買い物に行った結果たまたま福引きがあればとりあえずするか...程度で福引きを目的に店へ行くことはありえない。(景品がどんなに豪華でも)(50歳代, 女性)
めったに当たらないのでわざわざ福引きを当てに行くことはない。(70歳以上, 女性)
福引きの為に買物をしようと思わないので, 行きたいとは思いません。(20歳代, 女性)
生協などで買い物するので商店街には行かない。(40歳代, 男性)
後期高齢者のため, 不用になりがちな品物に期待興味が薄い。(70歳以上, 男性)
あたると行きたいですね。あたりますように、、、(70歳以上, 女性)
福引きにあまり魅力を感じない。(50歳代, 女性)
行きたいとは思いますが, 詳細は良く分かっていないので市内全般に行き渡る告知も必要かと感じる。おもに東光で買物をするが, 例えばレジの際に案内チラシを清算カゴに入れてくれたりすると必ず見ると思う。(ポスターでは, なかなか目に止めないかもしれない)(40歳代, 女性)
年齢的なものもあるかもしれませんがなるべく, 一カ所で買物を済ませたい。(70歳以上, 女性)
ピーアールがたりない。(60歳代, 男性)
福引きができる買物は時代遅れか時代錯誤。(30歳代, 男性)
脚, 腰わるくなり出室は, 大変です。(70歳以上, 女性)
福引きは夢があるので楽しみです。(60歳代, 女性)
日頃利用しているお店などで特にくじに拘りません。(70歳以上, 女性)
くじ運がない(良いものが当たらない)(70歳以上, 女性)
楽しいので。(30歳代, 女性)
買い物ついでだから。(60歳代, 男性)
買物をしない。(70歳以上, 男性)
ほしい物が無い。(70歳以上, 女性)
現地での魅力ある商店がない。(60歳代, 男性)
子供が小さかった時は楽しかったが, 高齢化するたびに出かける事や行事に参加する事が面倒になる。(60歳代, 女性)
福引きがしたくてお買い物に行くわけではないので, 福引きにはあまり関心がありません。申し訳ないです。(30歳代, 女性)
交通が不便(バスの便が少ない。バス停が遠い。)(70歳以上, 女性)

	商店街で売られている商品に魅力が余りない。それと市街のイメージが悪く40年前と余り変わりがない。最古いイメージから脱却しないと福引きにもそれ程いきたいと思われない。(70歳以上, 女性)
	福引きだけのためにお店に行きたいと思わない。気軽に行きづらい。自分がほしい商品がないから。(30歳代, 女性)
大曲地区	楽しみである。(60歳代, 男性)
	ティッシュ・小額の金券をもらっても、うれしくないから。時間と移動手段に限りがあり「今いける店」に行ってしまうので。(40歳代, 女性)
	何が当たるか楽しみ。(40歳代, 女性)
	そもそも商店街より札幌の方が近い(40歳代, 男性)
	行きつけの店じゃないし立地条件がついでに行こうと思えないため。駐車場が狭い(大曲地区)(50歳代, 女性)
	行きたい理由→お得感があるから。行きたいと思わない理由→めんどうだから。お得感が少ない時、当たりそうだなと思う当選確率の時、倍率が高い時。(60歳代, 女性)
	楽しみがある(30歳代, 男性)
	いくつになってもワクワクする気持ちは大切だと思う。(60歳代, 女性)
	買い物の中で、ワクワク感もある(70歳以上, 女性)
	買物に関して、特別なイベントと思う。(60歳代, 男性)
	福引きはワクワクします。何が当たるか、楽しみです。(50歳代, 女性)
	大曲からは遠すぎる。(車で3分ぐらいで札幌市内(清田区)なので)それほど行きたいとは思いません。(50歳代, 女性)
	ただただ、単純に楽しめるから。(40歳代, 女性)
	くじ運が悪いので、あまり「福引き」には左右されません。(50歳代, 男性)
	福引きは当たりたいと思う気持ちがあるので、同じ物を買うなら福引きのあるお店を選びます(40歳代, 男性)
	ある程度、内容が想像できてしまうので、少ししか行きたいとは思わなくなった。(60歳代, 女性)
	行きたいが、自分の家の近くに福引きしている店がない。(40歳代, 女性)
	一回で引ける金額が高いため、そもそも引く権利を得る事がないため。(50歳代, 男性)
	使用な商品を買ってくじ引きして当たればラッキーな事だから・・・(50歳代, 女性)
	どこで何をやっているのかわかりづらい宣伝が少ない、あまり話題になっていないような気がする(40歳代, 男性)
	運だめしと言うか、楽しいから・・・(40歳代, 女性)
	同じ買い物をしておまけとして福引が出来るならお得感があるから。(30歳代, 男性)
	私は今迄、福引を引いてもポケットティッシュ一個位ですので、あまりわざわざ行きたいとは思いません。でも少しは楽しみながら引きます。(70歳以上, 女性)
	楽しそうだから。(40歳代, 女性)
	年寄りのため(70歳以上, 男性)
	福引をやっているお店は？北広島側の商店か、近くの商店かわからないので(70歳以上, 男性)
住んでいる近くで行われるなら福引や三角みくじは楽しみにすると思う(40歳代, 女性)	
当たるかわからない福引きのために、わざわざ行こうと思わない。(30歳代, 女性)	
自分達も楽しめるし、商店街にも貢献出来ると思うので。(30歳代, 女性)	
何か当たる可能性があるなら、買い物したいと思う。(30歳代, 男性)	
抽選会場が近ければ行きたい。(30歳代, 男性)	
あまり興味がないから！(60歳代, 男性)	

	いつもの買い物をして、おまけで何かもらえるのであればそれだけでうれしいから(30歳代, 女性)
	欲しいものが当たらない。(40歳代, 女性)
	物を購入して地域にも貢献でき、消費者にも楽しみがあるから。(50歳代, 女性)
	福引き、くじなどが好きだからです。ただ自宅から遠い場所だとあまり行かないかも...(40歳代, 女性)
	福引きなどは全く当たったことがないから。(60歳代, 男性)
	総合スーパーで買物してしまうので~(60歳代, 女性)
	福引きを目的として買い物をしない為(50歳代, 女性)
	冬はあまり歩きたくないから。(70歳以上, 女性)
	福引きを引くだけの金額にならない。(70歳以上, 男性)
	運だめしになる。(50歳代, 女性)
	何か、当たるかもしれない。という楽しさ。(40歳代, 女性)
	冬は外出できない。必要時は車で出かけますが。(70歳以上, 男性)
	大曲在中ですが、北広島情報をあまり感じないので感心なかった。(50歳代, 女性)
	商店街外に住むため、自分では買物に行かない。(70歳以上, 女性)
	何か当ればうれしいから。少しは行ってみたいと思う気持ちはある。(40歳代, 女性)
	近所で必要な物を購入する際は福引きがあると楽しいが福引きを理由に買物はしない。(30歳代, 女性)
	単純におもしろそう。(40歳代, 女性)
西の里地区	商店街はあまり利用することがないので。(40歳代, 女性)
	時間がない(40歳代, 女性)
	冬道はおっくうですけど、福引きは楽しそうです。しかし、目的地に行く手段を考えると家にある事になります。(70歳以上, 女性)
	八十歳すぎているので出掛けられない(70歳以上, 女性)
	なつかしく、楽しみの1つだから(50歳代, 女性)
	福引でどんなものが当たるかたのしみである。(60歳代, 男性)
	運試し(20歳代, 男性)
	西の里地域にない為(70歳以上, 男性)
	楽しい景品がもらえるから(40歳代, 女性)
	小さな物でも当たるとうれしい。人間身のやりとりができて楽しい。(40歳代, 女性)
	当たるか、外れるか、高揚感が味わえるのと、景品に対する期待感がある為。(40歳代, 女性)
	商店街が、近くにない。親しみが無い。(60歳代, 女性)
	どこで福引きをしているのかわからないし、週一度の買物は、いつもの所ですませるため、そのために、福引きをしている店へ行く事はありません。(60歳代, 女性)
	高齢のため買い物に行くにも持って帰るのも困難なため生協の宅配を利用しているから。(70歳以上, 女性)
	歩くのが不自由になってきた。(70歳以上, 男性)
	ワクワク感が楽しいですね。(70歳以上, 女性)
	福引きに楽しみをあまり感じていない。景品や当選率が良くない。補助券等を集めるのが、面倒。(40歳代, 女性)
	夢があるみたいだから。(60歳代, 男性)
	遠方であり商圈でない為。(60歳代, 男性)
東部地区	あまり個人商店に行かないので福引のチャンスがない(60歳代, 女性)
	よく分かっていないから(50歳代, 女性)

いっどこでやっているかわからないため。(20歳代, 男性)
商店街で買いたい物 又は必要なものがあまりないので(50歳代, 女性)
固有のアピールが届かない。イベントなどの工夫が必要かな?(60歳代, 男性)
福引が好きだから。(20歳代, 女性)
楽しい心があたたかくなる(70歳以上, 男性)
加盟店がよくわからない(50歳代, 女性)
何が出て来るのかワクワクが楽しい(60歳代, 女性)
福引きがある無しよりも, 魅力ある商店街, 生きたくなる商店街かどうかで決めます。(50歳代, 女性)
必要な物を買う場合(同じ物を買う場合), 福引+と考えるので, 行きたいと思います。(50歳代, 女性)
あまり期待はしてないから(30歳代, 男性)
夢があるので福引が楽しみです。(60歳代, 男性)
買い物をする事で「福引き」も当選のチャンスがあると思うと楽しみの一つになります。(60歳代, 女性)
当たったことがない(60歳代, 男性)
北広島の商店街で買い物することがないので店の場所もわからないから(30歳代, 女性)
行きたいが足腰が悪いので足元に自信がない。(70歳以上, 女性)
なんとなく興味があるので(50歳代, 女性)
子供が楽しく参加できる為(30歳代, 女性)
市街に行きたいと思う店はありますか?近郊にはたくさんあります。(40歳代, 女性)
必要な物が売っている店には行って福引きしたいけれど, 必要ない物まで買って福引きしたいと思いません。(70歳以上, 女性)
去年も今年も当たっている。(70歳以上, 男性)
みかんとかりんごと言った食品は行かないことは有りません。しかし他の商品については, 今は, 品揃いが少ないので行きません。(60歳代, 男性)
あまり興味がないから。(20歳代, 男性)
当たるとうれしい。(60歳代, 女性)
当るとは思えないので。(60歳代, 女性)
何もほしい物が有りませんので?まず当たらないので。(60歳代, 女性)
楽しそうだから。(40歳代, 女性)
自分の通っている店で十分満足している。申し訳ないが商店街に魅力を感じる事ができない。(50歳代, 女性)
同じ買い物をするなら何か当たるかもという感じがある方が楽しいから。(70歳以上, 男性)
ワクワク感があまり無い。(40歳代, 男性)
福引に外当していない商店などわからないで買物をする場合があります。残念に思う事はあります。(70歳以上, 女性)
福引きに魅力を感じない。(50歳代, 男性)
大きな複合店に脚が向いてしまう。(50歳代, 女性)
冬道はすべるので, くじ引く所まで行くのが大変です。(60歳代, 女性)
冬は路面状況が悪く, あまり出歩かないようにしている。(60歳代, 男性)
一部食品小売店の価格がスーパーなどに比べて高いので。(60歳代, 男性)
「行きたいと思わない」ではなく, 商店街で, 買物をする機会がない。(60歳代, 女性)
福引の当りに多少期待、、、かしら、、、。(60歳代, 女性)
必要な物を買う時は行きたい。(60歳代, 女性)
福引きに参加したことないから。(50歳代, 女性)

	買い方に楽しみが湧くから。(60歳代, 男性)
	めんどくさい。(40歳代, 女性)
	余り期待する程の景品がないと思うから。(70歳以上, 女性)
輪厚地区	福引きのためだけには行かない。買い物ついでに福引きをやっているならば、福引目的で買い物をすると思う(50歳代, 男性)
	何か当たれば良いと思う(40歳代, 男性)
	店が少ない(70歳以上, 女性)
	当たると楽しいので。(70歳以上, 男性)
	地区に商店が少ない(60歳代, 男性)
	住んでいる地域付近で行っているかわからないし、JRの駅側などの中心街に行くのに不便なため、普段から行きなれません。(40歳代, 女性)
	自宅の近くにお店がなく車をつかって買物に行くため大型スーパーに行くため。(40歳代, 女性)
	輪厚地区でどこがやっているか全くわからない。(50歳代, 男性)
	近くにあれば、行ってみようと思う。(20歳代, 男性)
	くじ運がない方なので福引きにあまり興味がない。(60歳代, 女性)
	買い物に「+α」の楽しみがあるから。(20歳代, 男性)
その他	福引と聞けばいつもより多く買い物をしたいと思うから。(30歳代, 男性)
	何かに当たったりするとやはりうれしい。又はずれてもポケットティッシュ等がもらえて利用価値があるので(50歳代, 女性)
	近所がない(70歳以上, 男性)
	市内で買い物をしたい。(60歳代, 男性)
	物価が高くなっているので無駄のない魅力のある福引だったら行きたいと思う。(40歳代, 女性)
	景品がもらえる楽しみがあるので！(30歳代, 男性)
	虹ヶ丘に住んでいるとわざわざ北広島市の商店街まで出かけるという気持ちになかなかならないかなと、感じます。(40歳代, 男性)
	特になし(50歳代, 男性)
	あまり興味が無い(60歳代, 男性)
	何か当たるから。(50歳代, 女性)
	普段あまり外出しない為(50歳代, 男性)
	お得感があるし、当たっても当たらなくても楽しみの1つとなる。つつい福引きを引きたい為いつもより多く買ものすると思う。(30歳代, 女性)
	景品の金額というよりは「くじを引く」という行為が楽しいから。(40歳代, 女性)
	子供が楽しめそうな気がする。(30歳代, 男性)
居住地無回答	楽しみです 福引の店(, )
	あたりが少ない?(, )
	お正月の運だめしなど楽しみが増えることは購買意欲がわかります。(, )
	イベントなど楽しいことが好きなので参加してみたいと思うため。(, )

#### 質問9 北広島市内における日常生活の買い物の頻度

日常生活において北広島市内で買物をする頻度を尋ねたところ、半数以上の回答者が市内で買物をしていることがわかった(表28)。また、「ほとんど市内で買物をする」「市



内で買い物をすることが多い」を「市内で買い物をする」として、「市内で買い物をすることは少ない」「めったに市内で買い物をしない」を「市内で買い物をしない」として2件法でまとめ直し、質問1「三角くじの認知度」との関係についてまとめ(表29)、さらに $\chi^2$ 検定を行った。

その結果、統計的に有意な差異がみられた(表29)。すなわち、市内で買い物をしない人の多くは三角くじを知らないが、市内で買い物をしている人であっても三角くじを知らない人の方が多い。質問8の自由記述での三角くじを行っていることを知らないとの記述が多くみられたことから、三角くじに注目してもらう工夫をしていく必要があると考えられる。

表27 北広島市内で買物をする頻度

質問9	ほとんど市内で買い物をする	市内で買い物をすることが多い	市内で買い物をすることは少ない	めったに市内で買い物をしない	回答数
人数	119.0	108.0	57.0	14.0	298.0
回答数の%	39.9	36.2	19.1	4.7	100.0

表28 三角くじの認知度と市内での買物(回答2分類)との関係

質問1		質問9 市内での買物	市内での買物		合計
			市内で買物をする	市内で買物をしない	
三角くじ認知度	知っていた	度数	92	8	100
		総和の%	31.4%	2.7%	34.1%
	知らなかった	度数	132	61	193
		総和の%	45.1%	20.8%	65.9%
合計		度数	224	69	293
		総和の%	76.5%	23.5%	100.0%

表29 三角くじの認知度と市内での買物(回答2分類)  $\chi^2$ 検定の結果

項目	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	20.388(b)	1	.000
連続修正(a)	19.098	1	.000
有効なケースの数	293		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0セル(0%)は期待度数が5未満。最小期待度数は23.55。

さらに三角くじを引いたことがあるかどうかの経験（質問 2）と市内での買い物の有無（質問 9 ; 2 件法）との関係（表 30）についても  $\chi^2$  検定（表 31）により検討した。その結果、統計上有意に、市内で買い物をしている人の方が三角くじを引いていた。ただし、三角くじを引いていない人の多くも市内で買い物をしている人であった（表 30 および表 31）

表30 三角くじ経験と市内での買物(回答2件法)の関係

質問2			市内での買物		合計
			市内で買物をする	市内で買物をしない	
三角くじ経験	引いた	度数 総和の %	62 21.3%	4 1.4%	66 22.7%
	引いていない	度数 総和の %	160 55.0%	65 22.3%	225 77.3%
合計		度数 総和の %	222 76.3%	69 23.7%	291 100.0%

表31 三角くじ経験と市内での買物(回答2分類)における  $\chi^2$  検定の結果

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ乗	14.702(b)	1	.000
連続修正(a)	13.467	1	.000
有効なケースの数	291		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0 セル (.0%) は期待度数 5 未満。最小期待度数は 15.65。

続いて、福引きへの楽しみ（質問 6）と市内での買物（質問 9 ; 2 件法）との関係を検討した（表 32）。

表32 福引きへの楽しみ と 市内での買物(回答2分類)の関係

質問6			質問9 市内での買物		合計
			市内で買物をする	市内で買物をしない	
福引き楽しみ	楽しみ	度数 総和の %	114 39.7%	20 7.0%	134 46.7%
	関心なし	度数 総和の %	106 36.9%	47 16.4%	153 53.3%
合計		度数 総和の %	220 76.7%	67 23.3%	287 100.0%

合わせて  $\chi^2$  検定を行ったところ、有意な特徴が示された（表 33）。すなわち、市内で買い物をしない人の方が商店街の福引きにあまり関心を持っていない。ただし、これはほか

の質問に対する回答にも示されているように、商店街の存在や商店街にどのような店舗があるのか、その商店街で行われている福引きを知らないことの影響が考えられる。

表33 福引きへの楽しみと市内での買物(回答2分類)における $\chi^2$ 検定の結果

項目	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson の $\chi^2$ 乗	9.957(b)	1	.002
連続修正(a)	9.094	1	.003
有効なケースの数	287		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0 セル (0%) は期待度数が 5 未満。最小期待度数 31.28。

ただし、表 34 と表 35 に示したように、2 件法により福引きを行っている商店街に行きたいと思うか(質問 7) と市内で買い物をするか(質問 9) との関連をみると、有意に市内で買い物をするの方が福引きを行っている商店街へ行きたいと捉えていること(45%強)がわかる。しかし、3 割の人は行きたいと思わない。

表34 福引きのある商店街へ行きたいかと市内での買物(回答2分類)の関係

質問7			質問9 市内での買物		合計
			市内で買物をする	市内で買物をしない	
福引きを行っている商店街へ行くか	行きたいと思う	度数 総和の %	132 45.5%	30 10.3%	162 55.9%
	行きたいと思わない	度数 総和の %	89 30.7%	39 13.4%	128 44.1%
合計			221 76.2%	69 23.8%	290 100.0%

表35 福引きのある商店街へ行きたいかと市内での買物(回答2分類)における $\chi^2$ 検定の結果

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson の $\chi^2$ 乗	5.632(b)	1	.018
連続修正(a)	4.992	1	.025
有効なケースの数	290		

a 2x2 表に対してのみ計算

b 0 セル (0%) は期待度数が 5 未満。最小期待度数は 30.46。

### 質問10 北広島市外で日常生活の買い物をする場所

北広島市外で買い物をする場所の割合が高かったのは、札幌市清田区、新札幌駅付近、札幌駅の順であった。

表 36 北広島市外の買物をする場所

質問10	人数	全回答数362件 に対する割合%	有効回答者283名 に対する割合%
新札幌駅付近	77	21.3	27.2
札幌駅付近	61	16.9	21.6
大通駅付近	18	5.0	6.4
札幌市清田区	131	36.2	46.3
恵庭市	40	11.0	14.1
江別市	6	1.7	2.1
その他	29	8.0	10.2
合計	362	100.0	127.9

注)無回答 24名 有効回答者数 283名

さらに居住地区との市外での購入場所との関係を検討した結果、北広島団地地区では札幌駅、新札幌、清田区の順、東部地区では恵庭市や清田区、札幌駅、新札幌駅の順で、市外の購入場所はこの3地域にばらついていた。一方で大曲と輪厚では清田区に買い物に行く人が多くみられ、特に大曲に特徴的であった。一方西の里では新札幌に集中していた。

表 37 購入場所と居住地区の関係

購入場所 居住地区	新札幌 付近	札幌駅 付近	大通駅 付近	清田区	恵庭市	江別市	その他
北広島団地	27	37	6	19	11	1	10
大曲	8	4	9	62	2	0	5
西の里	22	1	0	9	0	0	5
東部	14	16	2	18	19	4	6
輪厚	1	1	1	15	4	0	0
その他	5	1	0	4	2	1	3

(単位:人)

質問11 あなたが日常生活の買い物でよく利用する店舗

よく買い物に行く店舗で最も多かったのは大型スーパー、次いで中小食品スーパー、コンビニエンス・ストアであった。

表 38 日常の買い物でよく利用する店舗

質問11	人数	全回答数716件 に対する割合%	有効回答者302名 に対する割合%
個人商店	19	2.7	6.3
中小食品スーパー	154	21.5	51.0
大型総合スーパー	219	30.6	72.5
百貨店(デパート)	35	4.9	11.6
大型専門店	33	4.6	10.9
家電量販店	72	10.1	23.8
コンビニエンス・ストア	126	17.6	41.7
宅配・通信販売	51	7.1	16.9
その他	7	1.0	2.3
合計	716	100.0	237.1

注)無回答 5名 有効回答者数 302名

表39 日常の買い物でよく利用する店舗と居住地区の関係 (単位:名)

質問18	質問11 買物する店舗									
	個人 商店	中小食品 スーパー	大型総合 スーパー	百貨店	大型 専門店	家電 量販店	コンビニ	宅配 通販	その他	
居住地区	北広島団地	8	37	72	15	7	22	35	21	2
	大曲	4	36	59	4	12	22	42	10	0
	西の里	1	17	21	3	3	8	9	6	1
	東部	4	45	43	7	8	12	26	11	3
	輪厚	0	9	13	1	2	4	8	2	0
	その他	2	7	9	2	1	2	3	0	1

また居住地区ごとにみると、どの地区においても大型総合スーパーあるいは中小食品スーパーが多く利用されている。さらに、コンビニエンス・ストアも地区に共通して比較的利用率は高い。個人商店の利用は少ない。

### 質問12 日常生活の買い物でよく利用する交通手段

日常生活の買い物では自家用車が最も使用されており、次いで徒歩であった。居住地区別にみると、北広島団地では電車やバス、東部地区では電車、大曲地区ではバスを利用している。また、北広島団地、大曲地区、東部地区では徒歩で買物に行く人も比較的多い。特に、北広島団地では商業地に近いこともあり、徒歩と自転車が他の地区に比べ利用率が高い傾向がある。

表 39 買物をするときの交通手段

質問12	人数	全回答数488件 に対する割合%	有効回答者302名 に対する割合%
電車	38	7.8	12.6
バス	45	9.2	14.9
タクシー	19	3.9	6.3
自家用車	248	50.8	82.1
バイク	1	0.2	0.3
自転車	30	6.1	9.9
徒歩	103	21.1	34.1
その他	4	0.8	1.3
合計	488	100.0	161.6

注)無回答 5名 有効回答者数 302名

表 40 居住地区と買物をするときの交通手段

質問18	質問12 買い物するときの交通手段							
	電車	バス	タクシー	自家用車	バイク	自転車	徒歩	その他
北広島団地	23	23	8	60	0	11	40	1
大曲	1	11	4	66	1	9	26	0
西の里	3	5	2	27	0	4	7	0
東部	10	3	3	61	0	6	23	2
輪厚	0	2	1	16	0	0	1	0
その他	1	1	0	13	0	0	3	1

### 質問 13 よく利用する北広島市内の店舗

よく利用している店舗の業態としては、生鮮食料品店、医薬品・化粧品店、美容院・理髪店、その他の食料品店であった。

表 40 買物をする市内利用の業態

質問13	人数	全回答数898件 に対する割合%	有効回答者295名 に対する割合%
生鮮食料品店	232	25.8	78.6
その他の食料品店	126	14.0	42.7
雑貨店	68	7.6	23.1
衣料品店	53	5.9	18.0
医薬品・化粧品店	141	15.7	47.8
美容院・理髪店	129	14.4	43.7
クリーニング店	93	10.4	31.5
飲食店	35	3.9	11.9
その他	21	2.3	7.1
合計	898	100.0	303.4

注)無回答 12名 有効回答者数 295名

### 質問 14 地域の商店・商店街に期待するもの

地域の商店・商店街に期待している内容としては、品揃え、価格の安さ、場所や開店時間等の便利さであった。

表 41 地域商店・商店街への期待

質問14	人数	全回答数600件 に対する割合%	有効回答者289名 に対する割合%
価格の安さ	152	25.3	52.6
品揃え	178	29.7	61.6
店舗の環境(駐車場等)	72	12.0	24.9
便利さ(場所・開店時間等)	126	21.0	43.6
店員の専門知識・技術	33	5.5	11.4
店員とのコミュニケーション	24	4.0	8.3
その他	15	2.5	5.2
合計	600	100.0	207.6

注)無回答 18名 有効回答者数 289名

## 質問 15 商工会や商店街についての要望

商工会や商店街の一覧を表 42 にまとめた。商店や商店街を昔から利用していて、いつも訪れる商店に対する応援のメッセージもあったが、商店や商店街の努力を求める厳しい意見で占められていた。

表 42 商工会や商店街についての要望

居住地	質問 15(自由記述)
北広島団地地区	消費者との共存共栄を目指そうという思想を持ってほしい。どんなニーズ(商品、サービス、接客態度)があるかを把握し、それを具体化する努力が必要だと思う。(把握し→)例えばアンケート調査で。そして、今回のアンケートの項目・内容を見ると、一体何を知りたいのか、結果をどう活かそうとしているのか全く分からない。折角アンケート調査をするなら、プロの仕事をしてほしい。(70 歳以上, 男性)
	特にありません。(20 歳代, 女性)
	緑も多く近くにスーパー、銀行もあり住み易いと思い江別市から引っ越してきましたが、今はなくなり、年齢と共に買い物不便で AM・PM に分けて買い物用の乗り物があれば...という声が多いみたいです。(例: 団地～市街まで)自分の目で確かめて買い物したいとのこと。※団地へ引っ越して来てから、市街の店、フクダさん、竹村さん、ふるやさん、随分利用させて頂き、いつまでも続けて欲しい、なつかしく、頑張ってもらいたいと思います。注: 福田菓子店、竹村商店(酒屋)、古谷ふとん店(70 歳以上, 女性)
	時々でも、野菜や北広産の食品等どんどん売りに出してほしいです。季節の物でもいいので、近い所でだれもが行ける(気軽に)といいですね。人を集める(主婦は強い)こと、主婦の口コミが良い結果を作ると思います。(60 歳代, 女性)
	個人的には特段ないのですが、今回のような消費生活に関するアンケートは男性より女性(主婦)に出すべきと思いますが、今後に生かして下さい。(70 歳以上, 男性)
	特にありません(30 歳代, 女性)
	経営のプロ集団＝商工会 活動費はどこから? そしてどこへ?(60 歳代, 男性)
	個人としては市内の商店や商店街について場所等がわからないことが多いので、利用しやすいような宣伝等をして下さると行ってみたいという気持ちになります。(市外から引っ越してきて 4、5 年が経ちますが利用する店に限られています。(30 歳代, 女性)
	活気がないように思う。どこか、この次でも良いような、独自の強みを考えて宣伝してもらえれば興味がわく。(50 歳代, 男性)
	色々なイベントなど、あるようですが、あまり知られていないのは PR 不足なのでは? 新聞を取っていない家庭もありますし、年を取ると目もあまり見えませんので、チラシにも目が届きません。(70 歳以上, 男性)
	北広島はあちこちに店がばらけていてどこが中心なのかわからない。駅前がさみしい。(40 歳代, 女性)
	もっとセール品等のチラシを出して欲しい(30 歳代, 女性)
	団地のほうに住んでると、あまり商工会の仕事の事良くわかりかねるので、御免なさい。(70 歳以上, 女性)
	JR 駅のまいピー もっと大きいと目立って可愛いのではと思っていました。(70 歳以上, 女性)
	飲食店がもっと増えれば良いと思う。(30 歳代, 女性)
・商店街は駐車場が少なく行きづらい。 ・マイピーの商品を駅の売店で買えたら、もっと沢山の方に北広島のユルキャラが広まるのと思います。ちなみにマイピーのついたバッグに入る靴べらあったら サイズは短くても使いづ	



	<p>らしい(図に示されているもので20 cm以内), あったら便利だし、プレゼントにも向いていると思います。(60歳代, 女性)</p>
	<p>ファミリーレストランがないのでぜひほしい。(家族で食べに行く所が少ない。)(60歳代, 女性)</p>
	<p>家の近くには商店街がないので行かないけど、もし近くにあったら行ってみたいと思う。鮮度は客が多く入る店の方が良い印象があるので、コープや東光へ行くことになると思う。割引券などがあると行くかもしれない。(30歳代, 女性)</p>
	<p>①年をとると買物もままならず生協のトックに頼っています。生鮮品の魚や野菜が今一つ足りません。国でも補助金を出して移動販売者を出して下さっているのですが人手不足とかで、ショッピング北広も今のところ来てくれいていません。なんとか活性化していただけないものでしょうか。②食堂など食事処も一食2gを目標に、減塩につとめてほしいものです。(減塩醤油の利用もあります)味が濃いと脳に障害がおきやすいので、指導して下さいと助かります。(70歳以上, 女性)</p>
	<p>団地に住んでいると、買い物に不便を感じつつも、北広島で商店街なるものが、どこにあるか判らずに居る。アーケードの下に並ぶいろいろのお店をイメージするがそれはないように思う。どこかで市場でも何々市等出来れば楽しい。(10日市, 8日市)とか(70歳以上, 女性)</p>
	<p>生協や東光などもお楽しみ三角くじがあればいい。(40歳代, 男性)</p>
	<p>北広島市の宿命として地域に分散した商業圏を形成しており、消費力の集中に欠け、個人商店の発展の余地が少ない。集中力を結集する為の余分の経費が必要で、地域の連繫をどう密にするかが課題。市役所本舎付近の個人商店の衰退残念。(70歳以上, 男性)</p>
	<p>今のところあまりわかりませんがもっとわかるようになってからにします。(70歳以上, 女性)</p>
	<p>商工会の活動をあまり知らない。(50歳代, 女性)</p>
	<p>メジャーなファミリーレストランが一店くらいは欲しい。コンビニもローソンが欲しい。市内店舗共有のスタンプカードがあればいい。(40歳代, 女性)</p>
	<p>実現のできない要望ですが、個々人まかせの商店経営では何も変わることはないのではないかと思います。商工会が将来ビジョンを持って地域コミュニティを活性化できるように期待します。(30歳代, 男性)</p>
	<p>”年寄りのボヤキ”秋口に、フン、電気器具を購入しようと出向きましたが品物が無く購入ならず、不本意ながら通販を利用。(70歳以上, 女性)</p>
	<p>経済と健康を考え殆ど毎日買物に行っております。我が家は車がありませんし、将来あまり歩けなくなると思い、配達料を安くして頂けるととてもありがたいです。それと個人的なお願いです。がせっかく地元のお菓子屋さんがあるので駅近くの店を構えてほしいです。また駅近くをもっと賑やかにしてほしいと思います。(70歳以上, 女性)</p>
	<p>現在、近くに商店がない、歩いて行ける所に店がほしい。(70歳以上, 女性)</p>
	<p>特定商店街。過剰価格販売を見た。(60歳代, 男性)</p>
	<p>1000円の三角くじが一週間くらいでなくなった。もっと増やしてほしいです。(1回に3000円以上も買わない)(70歳以上, 女性)</p>
	<p>市役所周辺、団地内の商店はひどすぎる。特に市役所周辺は思いきって土地買収を図り、大型店を誘地しなければダメです。(60歳代, 男性)</p>
	<p>おいしい専門店があったらよい。(そば、パスタ)等(70歳以上, 男性)</p>
	<p>車をもたない人にとっては、近くの個人商店が大変たすかります。買ったものの配達もしてくれるので、年齢にあった利用のしかたが今後益々必要になると思われる。そういった意味では、団地に住みはじめた時のように各地域に個人商店があれば便利。(60歳代, 女性)</p>
	<p>駅に設置されているきたひろまいピーですがすごくイイですね。かわいく立体的です。(30歳代, 女性)</p>
	<p>特になし(70歳以上, 男性)</p>
	<p>特になし(60歳代, 男性)</p>
	<p>質問8に書きました。すみません。飲食店がない事です。ファミリー的な店、大事な方々と食事</p>

	する店がない事, これは皆さんが希望している事です。北広島団地内に店舗をお願いしたいです。どうして出来ないのですか?頑張ってください。(70 歳以上, 女性)
大曲地区	大曲ではどこなのでしょう。(60 歳代, 女性)
	大曲に商店街があると思ってませんでした。セリオのあたりを言っているのでしょうか。IKEAはこないのですかね?(40 歳代, 女性)
	大曲地区を特色のある(特別の専門性)小売り、接客の良さ、目玉になるお店などを誘致して活性化してほしい。駐車場も広くしてほしい。(50 歳代, 女性)
	100 円均一の大型店があるといいです。北広島道の駅があるといいです。(60 歳代, 女性)
	若者が参加できるイベントがもっとたくさんあっていいと思う。(花ホールでの活用法)(60 歳代, 女性)
	大曲にレンタルビデオ店ができれば、いいなあ、と常日頃思っています。(50 歳代, 女性)
	大曲のお菓子屋さん、クリーニング店などは利用していますのでずっと残っていて欲しいです。三井アウトレットパーク等々大型店が多いので、地元のお店もがんばってください。(50 歳代, 女性)
	大曲緑ヶ丘の近くに居酒屋さんができたらうれしい。(40 歳代, 女性)
	ゆるキャラ PR 活動は、もっと活発に店舗イベント等に登場して認知度を上げていけたら良いと思います。(貸出料の軽減等)(50 歳代, 男性)
	なし(60 歳代, 女性)
	ジョイフルエーケーなんです、店員の教育がなってない…。どの部所も(特にスーパーのレジ)態度が悪いと思います。もう少し接客態度の勉強・教育していただきたいです。ジョイフルAKに是非伝えて下さいお願い致します。(50 歳代, 女性)
	専門的な用品知識が少ないので、どうしてもネット等での買い物になる。(40 歳代, 男性)
	商店街がどの辺りにあるのか、どのような店があるのか知りたい。(30 歳代, 男性)
	南町と東町に 2 分になっている?(70 歳以上, 男性)
	商工会、商店街のイベントや商工会の仕事を広く市民に知ってもら。例えば有名なタレントをよんで市民が商店街に出向き、外出するように宣伝する。(70 歳以上, 男性)
	色々なイベントでもっとまいピーに会えたら嬉しい!(30 歳代, 女性)
	新聞を取っていないので、全く情報が入らないので、なにかしらの情報提供をしてほしい。(30 歳代, 女性)
	市民でもどんな商店があるか知らない人が多い。もっと PR(広報など)した方がよいと思う。(30 歳代, 男性)
	大曲周辺のお店は閉まるのが早い。9 時に仕事が終わってから買い物できる所がコンビニくらいしかない(30 歳代, 女性)
	飲食店がもっとあったらいいなと思ってました。(40 歳代, 女性)
	サービス、頑張ってください。(60 歳代, 男性)
	商店街がなくならない様に願っています。(70 歳以上, 女性)
	商工会の活動が見えてこない。高齢化が進む北広の中でどの様な活路を開こうとしているのか?(70 歳以上, 男性)
	大曲方面と北広島駅方面の温度差を感じる。もっと一体感があると良いと思う。(50 歳代, 女性)
	北広島一大曲までバスがでていたらいい。(ジャスコみたいに)べんりが悪い。(60 歳代, 女性)
	北広島を中心地はどこ?と聞かれ答えに困ります。一分散しすぎた街一駅あたりも北広に住んで 17 年ですが(大曲)あまり利用したことがありません。商店街の今では今後も利用することは考えにくい。近年、三井とかクラッセホテルとかアジア観光客が北広に来てることが多いので、道産物の大規模市場(京都錦市場)のような、そんな話題中心な街づくりをして頂きたい。(50 歳代, 女性)
	なし。(60 歳代, 女性)

	物によって買う場所がバラバラだが、たとえば、ジャスコのような店舗が大曲地区にあると嬉しいです。(40歳代, 女性)
	大曲地区の商店街は無いも同然。(60歳代, 女性)
西の里地区	宣伝を色々として下さっている事と思いますが、なかなか目に入らなかったようです。これからは、色々目を通してみます。(70歳以上, 女性)
	西の里では、だんだんと人も少なくなり店はなく不自由をして居ります。(70歳以上, 女性)
	北広島駅周辺の開発。西の里地区に住んでいるが、市役所も古く、市の実感がない。大曲地区の様に活気のある中心部にする必要がある。(50歳代, 男性)
	三角くじの周知について。1. 町内会の回覧板に目立つチラシを掲載。2. ポスティング。(20歳代, 男性)
	買い物したくなる商店等が北広には無い。西の里にはフードDしかなく、団地内には無く車でしか行けない。(60歳代, 男性)
	高齢者用の宅配を増してもらいたい。(70歳以上, 男性)
	特になし(70歳以上, 男性)
	西の里にはスーパーが一軒しか有りません。コンビニが2軒、あとは歩いて40分かけてフードDです。80歳をすぎると大変です。出来れば巡回バスで買い物出来れば嬉しいです。(70歳以上, 女性)
	西の里地区には商店街と呼べるものがなく、自家用車等の手段がない方々は消費に積極的になりたくてもなれないのでは？と思われるので、くじがうんぬんより考えるべき点でないのかと考えます。(30歳代, 女性)
	すぐにはできないでしょうが色々なものが、手に入る専門店の商店街を望みます。(街に二重下線)(60歳代, 女性)
	私は西の里なのでドラックストアとフードDしか行く事ができません。後はバスにて新札幌です。買物がふべんです。帰りはハイヤーですで大変です。(70歳以上, 女性)
	もっと北広島のお店で買い物してほしいと全面にアピールして良いと思います！自分達のためにと伝えても良いのではと思います。(40歳代, 女性)
	がんばってほしい。(70歳以上, 男性)
	年を取ると歩いて行ける場所に店がないと要望もないです。(70歳以上, 女性)
	いつでもお客様の事を思って。(60歳代, 男性)
	虹ヶ丘地区に一カ所あったコンビニが無くなり銀行ATMの利用が出来なくなり新札幌まで出る事が多い。そのとき買物も済ませる。(60歳代, 女性)
東部地区	最近空き店舗が多く特に中央商店街はさびしいと思います。又、東部地区にも食品を扱う商店が一軒ありません。ちょっとした買い物に不便です。(60歳代, 女性)
	とくにないです。(30歳代, 男性)
	もっと周知すべきだと思います。(50歳代, 女性)
	商店が、週・月・数カ月にイベントの開催・共催などを企画してみても？道の駅を参考に？(60歳代, 男性)
	当たりくじを一本でも多くして下さい。(70歳以上, 男性)
	ファミリーレストラン等があってほしい(70歳以上, 女性)
	高齢者に対し、配慮した対応をお願い致したい。商品の説明等(70歳以上, 男性)
	空店舗のシャッターがおりているのがとても寂しく感じる。何か活用法を考えて欲しい。(60歳代, 女性)
	商工会単位ではなく、市や住人とともに街の活性化に尽力してもらいたいと思います。生協はよく利用していますが、その周辺(市役所周辺)はもっと繁栄できる可能性がある場所だと思います。(今の状況はひどいです)(50歳代, 女性)
	市街地中心部に空店舗が大々い(60歳代, 男性)
	ナシ(70歳以上, 女性)

	<p>高齢化してきている世帯も多いので宅配などサービスがあるといいと思います。(週1回でも、地域別にか...)(50歳代、女性)</p> <p>地元が元気だと活気があるので、いろんなアイデアを出してイベントがあれば楽しいです。(60歳代、男性)</p> <p>北広島のどこに商店街があるかわからない。札幌から北広島に戻ったら、さびれたなと思ったし、食事をする場所もあまりなく、札幌にどうしても行ってしまふ。(30歳代、女性)</p> <p>子供が参加出来るお祭り等(長沼の夕方市など)を要望します(30歳代、女性)</p> <p>ファミリーレストランができないのはなぜ?パチンコ屋はいりません。(40歳代、女性)</p>
	<p>空き店舗が年々多くなって街を歩くのも淋しくなります。私も70才を過ぎると食の量も少なくなり、衣料品も買う回数が減って行きます。商店街を活気づけるには、若者が多くいる社会にしくは...と考えています。(70歳以上、女性)</p> <p>要望の前に、北広市民は当市で働く人が少ないためか、どう商店主が頑張ってもこの北広市街地では、残念ながら無理と思われれます。(60歳代、男性)</p> <p>ミニ祭りとか、出店とかあっても(60歳代、女性)</p> <p>中央商店街と有りますが商店街の店舗の数が少なく、なさすぎ、若者がかわいそうだ。(70歳以上、男性)</p> <p>高齢期に入り、近くに商店街がある事がほんとうに助かります。この時代経営が大変と思いますが、市民生活のため宜しく願い致します。(60歳代、女性)</p> <p>新鮮な魚貝類を豊富に置いてほしい。ほしい物が無いときが有りつい札幌に出る回数が多くなり、色々な物を沢山買って来て利用しない。(60歳代、女性)</p> <p>家の近くにみりよ的な店がない。何度も行きたくなるような飲食店がない。(30歳代、女性)</p> <p>これからに期待!(50歳代、女性)</p> <p>食事ができるところが少ない。このため外食は市外となってしまう。(40歳代、男性)</p> <p>経済や商品購入の良い方法などの講座、職業訓練などの講座をひらいてほしい。(60歳代、男性)</p> <p>大型店に入居している専門店には商工会には加入していないのでしょうか?消費者はどこで買物をして同じ接点があると有難いと思う。(70歳以上、女性)</p> <p>商店街ってどこの所?(50歳代、女性)</p> <p>なし(60歳代、女性)</p> <p>ため口の接客にはあきれれる。バカでいいないな対応は望みませんが、...(60歳代、男性)</p> <p>各店のサービス面での特典作りがあっても良いのではないのでしょうか!月に1度くらい折り込みチラシを利用して宣伝するとか、何か考えませんか中央の商店街は静かすぎます。活気がないですね。頑張って!!(60歳代、女性)</p> <p>各商店の努力、苦勞をPRすることによりファンは一層増えるものと思います。(60歳代、男性)</p>
輪厚地区	<p>特になし(50歳代、男性)</p> <p>商店街を利用する機会がなかなかありません。交通の便が悪い為、子供達も通学で利用しないので、そちらの方に目が向く事はありません。住んでいる場所が場所なので、利用できるのは大曲の大型スーパーだけです。(40歳代、女性)</p> <p>美味しい飲食店が少ない。(40歳代、女性)</p>
その他	<p>利用したいと思っているが、なかなか時間が合わない、仕事が休みの日位しか行けない。(50歳代、女性)</p> <p>もう少しセンデンしたら(60歳代、男性)</p> <p>島松沢、三島この地区は、世帯数も少なく高齢者がほとんどです。交通手段や情報等も不便な所であり、自家用車を使用できる人は良いが、日常生活に大変なことが多くあります。最近では、さまざまな所で宅配も増えているようですが...(40歳代、女性)</p> <p>要望ではないのですが、実は、場所が(どこにあるか)知らないのです。(40歳代、男性)</p> <p>特になし。(50歳代、男性)</p>

飲食店をふやしてほしい。夜 11 時くらいまで開いてる。ファミレスなど。(50 歳代, 女性)
正直市外の大型スーパーへいつも買いものする為、北広島の商店街がどこなのかわからない。(2年前に北広に移り住んだので。)どのようにPRしているのか?若い人(新たに北広へ来た人)に伝わっていない気がします。このような良い事業を行っているようなので、ぜひ、情報がほしいし、知っていれば利用したいと思います。(30 歳代, 女性)
特になし。(30 歳代, 男性)